



優れた、より良い福祉コミュニティーをめざして

ふれあいネットワーク

# まほろば

## 社協広報

第92号



## 機能訓練を取り入れた新たな取り組み！

～コミュニティハウス建部の里～

令和3年4月1日より建部の里が認知症対応型通所介護から、指定地域密着型通所介護に事業内容を変更しました。それに伴って定員枠を1日15名に広げたことで、新しく利用される方も増え、以前にも増してにぎやかな雰囲気になっています。さらに、看護師が在中し、希望する方に機能訓練が行える体制が整いました。

今までの家庭的な雰囲気はそのまま、昔ながらの行事や楽しいレクリエーションに加え、裏にある畑を活用して利用者の皆さんと野菜を育て、収穫の楽しみもあります。日々の活動を通じて生活意欲の向上に繋がるような役割を作り、地域に根差した施設を目指していきたいと思えます。これからも新しくなった建部の里をよろしくお願い致します。

令和3年度 事業計画/会計予算概要報告等 …… 1・2  
 事務局長就任あいさつ/事務局長退任あいさつ …… 3  
 令和2年度 助成金交付事業の結果報告/ペットボトル回収について …… 4  
 令和3年度 新人職員の紹介 …… 5・6  
 「もったいない」を「ありがとう」へ …… 7

## 令和3年度山形村社会福祉協議会/事業計画概要報告

本年3月30日に令和3年度第1回評議員会は、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、みなし決議（評議員会決議省略）にて行われ、事業計画については以下のとおりとなりました。

法人運営部では、昨年度に引き続き中期事業経営計画2年度目として、法人全体のビジョンに沿った組織体制の見直しを進めていきます。

また、新型コロナウイルス感染症対策への取り組みも引き続き行い、社会福祉協議会が実施する各事業の安心・安全な推進につとめます。

地域福祉事業部では、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で生活にお困りのご家庭に対する支援を進めていきます。今年度からは『出張！村内をまわる ワンコインぐるぐる弁当』など、地域を巡回する形での食糧支援にも取り組みます。

サロン活動など、地域における支え合い活動が継続できるよう取り組みます。また、日常生活自立支援事業をはじめとした認知症高齢者や障害者の権利擁護事業や、生活福祉資金・助け合い資金といった、生活にお困りの方に対する相談事業にも引き続き取り組みます。

居宅介護サービス（ホームヘルプ）や放課後等デイサービス等の障害者・児への障害福祉サービス事業にも引き続き取り組みます。

誰もが地域の中で居場所や役割を持ってその人らしく生きることができ、住民が地域づくりの主体として支え合う『共生社会の実現』を目指します。

介護保険事業部では、一部事業の見直しを行い、これまで認知症対応型通所介護であった建部の里を指定地域密着型通所介護に事業の種類を変え、再出発をしました。定員枠を広げ、機能訓練の体制を整え、これまでの良さを生かし引き続きサービスの質の向上に努めます。

保健福祉センターに併設されたデイサービスセンターいちいの里では、高齢者に加え障害者の受け入れを開始しました。ご本人やご家族が住み慣れた地域で安心して生活が続けられるよう、より良い仕組み作りに今後も取り組みます。

### 令和3年度 山形村社会福祉協議会 普通会員会費納入のお願い

山形村社会福祉協議会では、住民(会員)の皆さんより納入いただく会費を地域福祉事業(活動)の財源とさせていただきます。

今年度も皆さんのご協力を、よろしくお願い申し上げます。

**\*普通(世帯)会員会費の納入受付期間 7月1日(木)～7月31日(土)  
(日曜日を除く)**

**\*受付時間 8時30分～17時30分**

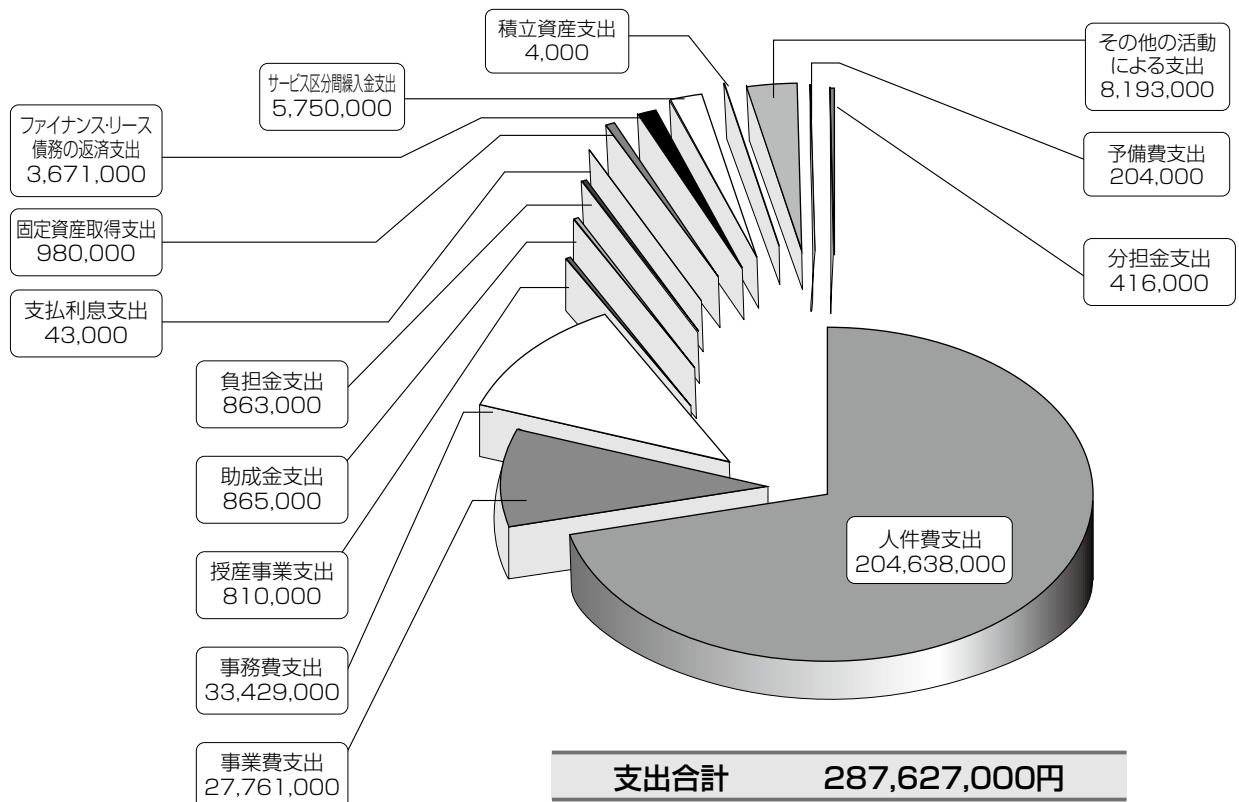
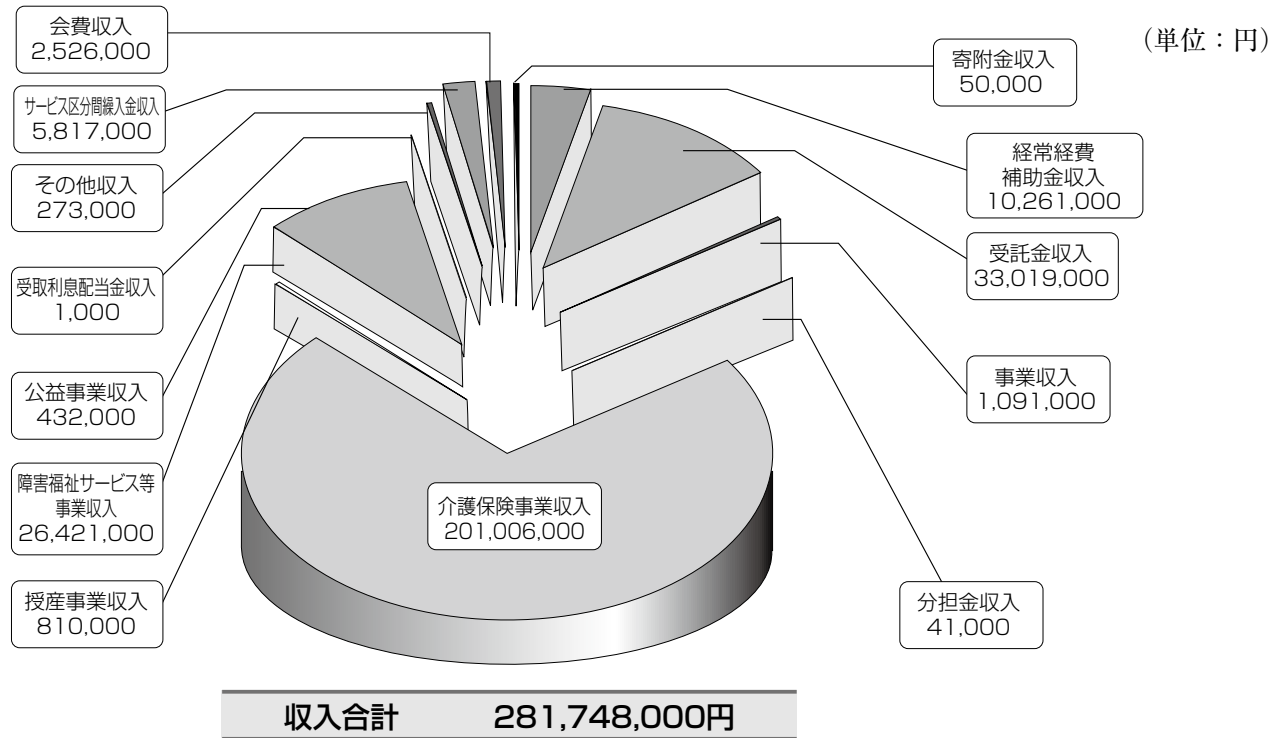
**\*受付場所 社会福祉協議会事務局窓口(保健福祉センターいちいの里内)**

連絡班ごとに納入いただきます。ご協力をお願い申し上げます。

# 会計予算概要報告

## ～令和3年度の取り組みがスタート～

また、令和3年度の会計予算についても審議され、決定されました。  
事業計画に基づき今年度は、収入及び支出はそれぞれ合計281,748,000円が計上されました。  
「令和3年度山形村社会福祉協議会会計収入支出予算」の概要は以下のとおりとなります。



※差額5,879,000円は、繰越金で調整する予定です。



## 事務局長就任あいさつ

事務局長 田中 雄一郎

本年4月1日付で、事務局長に就任しました。前任者同様、格別のご厚情とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

社会福祉協議会（社協）は、地域福祉の推進を図ることを目的として、山形村だけでなく全国の市町村に設置されています。

私が山形村で仕事を始めたのは平成7年。介護保険制度も始まる前で、地域の福祉といえば特定の方が利用するもの、という感じでした。

あれから25年が過ぎ、地域は大きく変わってきています。少子化や高齢化、それに加えて人口の減少。昨年からは新型コロナウイルス感染症の拡大による生活困窮。その他にも引きこもりや不登校など。現在の福祉は全ての世代にとって、とても身近な、でも少し分かり難い存在になっていると感じます。

今回の記事にあるように、私たち山形村社会福祉協議会は様々な事業を運営しております。

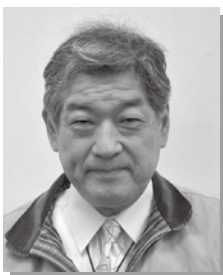
介護保険事業や障害福祉サービス等の制度に基づく事業、生活困窮世帯の方々に対する支援。ボランティア活動の推進や地域の居場所づくり等、福祉の様々な取り組みを総勢70名の職員で進めております。

これらは地域の困りごとに対し、社会福祉協議会としてどのように関わっていくかを、歴代諸先輩方が実践をくり返した成果であると思います。

私たちは、諸先輩方の想いを繋ぎ、地域の困りごとを地域の方と一緒に解決し、誰もが生きがい感を持って暮らし続けることができる地域づくりに、これからも取り組んでいきます。

「ちょっと困ったことがあれば、社協に相談してみよう。」そんな身近な存在であり続けるよう、今後も職員一同、取り組んで参ります。

これからも誠心誠意、職務に邁進したいと思いますので、住民の皆様のご支援、ご協力を重ねてお願い申し上げます。



## 事務局長退任あいさつ ～年年歳歳花相似たるも～

前事務局長 小林 司

昭和63年4月、私は地域福祉の推進をはかるために、村内に設置された山形村社会福祉協議会に奉職をしました。農業者トレーニングセンター内の一室に事務所が置かれ、地域関係者、役場の担当職員と数人のスタッフがいっしょに、その時に将来の山形村の福祉の創造への取組みが開始されました。

当初は、昭和34年4月に任意に置かれていた組織に、社会福祉法人格を取得させるための準備。今、ふりかえりますと、それは、組織の再編成期とも、法人組織の濫觴の期とも位置づけられます。その組織の大きな節目の時に臨み、携わらせていただいたことは、私にとって貴重な経験となりました。

しかし何よりも、その段階から一貫して、組織内外の多くの方々と厚誼を戴き、公私共に指導や支援を賜ったことは、大きな財産となりました。当時をかえりみて、ここにその関係者に対し、深謝を申し上げます。

「平成」「令和」の元号を戴くとともに、山形村社会福祉協議会は、「年」を重ね「歳」を育みながら、活動と事業とを営み経ていくこととなります。拠点の事業所も、前掲の「トレーニングセンター」から「ふれあいの館」へ、更に「保健福祉センターいちいの里」へと展開していきます。また、「コミュニティハウス建部の里」・「いちいの里すばる」等の事業拠点も加えながら、社会貢献を果たすべく活動が営まれました。

福祉事業等の在り方は、諸般の改革を加えながら、「年年歳歳」に更新・更生されます。その「年年」を彩った花々も、年輪の如く花の輪を拡げていきました。その「花びら」は相似たるも、そこには無常の念をも抱かされます。「花びらは散る」も「花は散らない」との例えもありますが、あらためて「歳歳」に関わっていただいた多くの地域の皆様に、重ねて感謝を申し上げる次第です。

組織の営みを「水車」に例えますと、社会の源流から「人財」というマンパワーを得て、その「組織の水車」は回転します。時には水路を築き、より安定した水流をその源流に求めるも、時には觴一杯の水を汲み注ぎながら、「出会い」と「ふれあい」の営みが繰り返されます。やがては、その「人財」も、社会の源流へと復って行きます。しかし組織は、新しいマンパワーを加えながら、その「水車」を回し、使命を果たしていきます。

唐の詩人劉廷芝は、「年年歳歳花相似たり」「歳歳年年人同じからず」とその「無常」を誦しています。その「一期一会」の「人」と「社会」と「自然」が織りなすドラマは、続編を實體験しながら、新たな轍をのこしつつ、更に回り歩んで行きます。ここに、将来に向けた大きな期待を申し添えて、感謝の辞とします。

**令和2年度 助成金交付事業の結果報告** 山形村社会福祉協議会の会費または共同募金配分金を財源にして、下記の団体に対し助成金を交付しました。

地域福祉団体等助成金	(財源 社協会費)	社会福祉協力校事業助成金	(財源 社協会費)
・山形村遺族会	助成金額 100,000円	・山形小学校	助成金額 50,000円
・山形村知的障害者育成会	助成金額 40,000円	・鉢盛中学校	助成金額 50,000円

指定地域福祉活動支援事業助成金報告		(財源 共同募金)
団体名・グループ名	活動内容	助成金額
おはなしの会	子供と大人のためのおはなし会 (児童館・図書館)	20,000円
東日本大震災「山形村からできる支援」を考える会	東日本大震災被災地(岩手県山田町周辺)視察・交流と地元での報告会の開催	25,000円
山形村エコライフを考える会	分別の推進によりゴミの減量と資源として活用出来るよう活動	21,916円
山形村史談会	郷土の歴史・文化を学び村民に広く発信し、成果を記録保存し、後世に継ぐ	25,000円
山形村俳句クラブ	俳句づくりを通して会員の心身の健康維持と村の文化活動の発展	20,000円
中大池健康花づくりの会	公的施設の花壇づくり、地域の仲間づくり	18,000円
山形村健康麻雀塾	高齢化社会で新たな生きがいと仲間作りを健康麻雀を通じて寄与したい	20,000円
自然保護集団 アクアの会	山形村の自然保護及び調査・研究・自然体験活動	25,000円
山形村音楽クラブ	合唱を通して村民の福祉に貢献する	25,000円
クレヨンママ	幼児と保護者を対象としたパネルシアター等の公演活動とそのための練習	19,157円
こどもコーラスTanpopo	各種イベントでの児童合唱の発表とそのための練習	18,000円
暁岳流日本吟道館山形道場	詩吟普及活動	2,800円
人形劇サークルてぶくろ	人形劇や手遊びによる交流活動	25,000円
シニア大山形会	シニア世代の生きがい活動と社会参加	22,500円
合 計		287,373円

**障害者生活・就労支援/地域交流センターすばるからのお知らせ**

# ペットボトル回収活動の終了について

障害者生活・就労支援/地域交流センターすばるでは、利用者さんの仕事として、資源物回収や手芸品の作成などに取り組んでおります。

この度、ペットボトル回収活動について7月30日(金)をもって終了することになりました。  
 なお、アルミ缶については引き続き回収を行いますので、ご協力をお願い致します。

下記の物については、現在も募集を行なっています。

手芸品作成に必要なもの (新品・未使用品)	資源物
<ul style="list-style-type: none"> <li>・フェイスタオル (なるべく無地のもの)</li> <li>・はぎれ布</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルミ缶</li> </ul> 

# 令和3年度



**芳川 晴菜** 総合相談・権利擁護係

- Q 「山形村」と聞いて思いつくもの？  
A ①山菜 ②砂嵐 ③意外に広い  
Q 子どもの頃なりたかった職業は？  
A アップルランドのレジの人

住民の皆さんが抱える様々な困りごとを解決できるように、他機関と連携した相談を行なっています。

4月からお世話になっております。皆様にたくさんのパワーをいただきながら頑張っています。1つひとつの出会いを大切にしていきたいと思っております✧  
たくさんのお話を聞かせてください😊

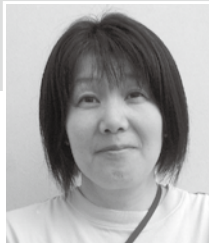


**花村 映理子** デイサービスセンターいちいの里

- Q 「山形村」と聞いて思いつくもの？  
A ①長芋 ②そば ③アイシティ  
Q 子どもの頃なりたかった職業は？  
A 子どもの頃はお菓子屋さんになりたいと思っていました。

通所利用される方のレク・食事・入浴などサポートしています。

今年からデイサービス勤務となりました、花村映理子と申します。  
ご利用者の方に寄り添い、地域の方々に信頼していただける職員になれるよう頑張りたいと思います。



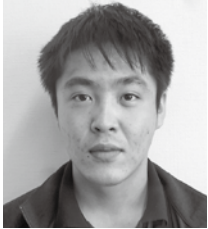
**横川 千鶴子** デイサービスセンターいちいの里

- Q 「山形村」と聞いて思いつくもの？  
A ①長芋 ②緑 ③じゃんすら  
Q 子どもの頃なりたかった職業は？  
A ピアノの先生

介護業務の他に相談業務として、ご家族や他事業所との調整をしています。

笑顔で利用者様の支援ができるように「心身」の健康維持を心がけています。実際は利用者様の笑顔で、私が元気をもらうことの方が多いですが…。多くの経験を積んで、責任感を持っていきたいと思っております。よろしくお願ひします。

# 新人職員の紹介.....



**松澤 郁己** 障害者生活・就労支援／地域交流センターすばる

- Q 「山形村」と聞いて思いつくもの？  
 A ①長芋 ②清水寺 ③やまっちそば  
 Q 子どもの頃なりたかった職業は？  
 A 学校の先生・プロ野球選手

障害者の方の就労や居場所づくりのお手伝いをしています。

松澤郁己と申します。私は山形村在住ではありませんが、働く中で山形村を知り、住民や利用者の方々への笑顔を絶やさず、頑張っていきたいと思えます。よろしくお願ひ致します。



**小松 ひろみ** 障害者生活サポートセンターすばる

- Q 「山形村」と聞いて思いつくもの？  
 A ①長芋 ②清水寺 ③やまっち  
 Q 子どもの頃なりたかった職業は？  
 A お花屋さん

障害児・障害者の方が利用されるサービスの計画を作成しています。

利用者の皆様の“思い”に寄り添い、ていねいな支援を心がけていきたいと思えます。信頼され、気軽に相談をしていただけるような職員を目指して頑張ります。よろしくお願ひします。



**丸山 充代** 小規模多機能型居宅介護事業所すばる

- Q 「山形村」と聞いて思いつくもの？  
 A ①長芋 ②アスパラ ③スイカ  
 Q 子どもの頃なりたかった職業は？  
 A 動物のお医者さん

通所・訪問・宿泊を組み合わせ、自宅での生活を中心にサポートしています。

4月に入社しました丸山充代と申します。まだまだ不慣れで皆さんに迷惑をかけることもありますが、1日でも早く仕事に慣れて頑張りたいです。

# 「もったいない」を「ありがとう」へ

山形村社会福祉協議会では、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて減収した家庭や、就学援助を受けている家庭、ひとり親世帯など、生活にお困りの皆さんの手助けになるように『出張！村内をまわる ワンコインぐるぐる弁当』を行なっています。

地域の皆さんから寄付していただいた、ご家庭で余っている食品や、出荷できない農産物。アサヒ酵母株式会社から寄付していただいたフルーツパンや食パンなどを、生活にお困りのご家庭へ提供するフードドライブ（食品配付）も同時に開催しています。



新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、今まで以上に生活が厳しくなっている家庭が増えています。家計の再建を図れるように、フードドライブなどの食品配付を継続して行なっていきたいと考えていますが、お渡しする食品が足りなくなっている現状があります。

“協力できる時”に“寄付できる分”で構いません。地域の中で支援が行き届くよう、食品や日用品を募集しています！

お米	野菜	食品	日用品
2018年度米以降のものもみ、玄米でも可	ほうれん草、小松菜、ジャガイモ、人参、玉ねぎ、りんごなど	レトルト食品、缶詰 ※賞味期限内のものに限る	洗剤、台所用品、ティッシュ、生理用品などの日用品 ※消耗品、未使用品に限る

## 山形村ボランティアセンターからのお知らせ

山形村ボランティアセンターでは、生活にお困りの方へ地域の皆さんから寄付していただいた、子供用品のお譲り先を探しています。

自転車（女の子用 うす紫色 1台）	ランドセル（女の子用 ピンク 1個）
	

※ホームページもご覧ください。

### 乳幼児のリサイクル用品を募集しています！

三輪車



食事用のイス  
(テーブル付)



ストライダー



レインコート  
(80~90cm)



長靴  
(13~14cm)



### お問い合わせ

山形村ボランティアセンター（山形村社会福祉協議会）  
電話：97-2102 平日8時30分～17時30分

**まほろば**（社協広報／第92号）令和3年6月25日発行

- 発行所 社会福祉法人 **山形村社会福祉協議会**（山形村保健福祉センターいちいの里内）  
〒390-1301 長野県東筑摩郡山形村4520番地の1 ☎0263 (97) 2102 FAX0263 (97) 2108
- ホームページアドレス <http://poponet-yamagata.or.jp/>
- 「まほろば」に掲載できなかった記事については、ホームページに掲載していますので是非ご覧ください。

この印刷物は植物油インキおよび再生紙を使用しています。